

第3回箕面ロマン創出懇話会会議概要

(12月4日実施分)

議題1 第2回箕面ロマン創出懇話会の振り返り
委員あてに事前配布を行い、説明は割愛。

議題2 まちづくり実施計画書(案)の提示及び検討について
まちづくり実施計画書(案)について、駅前エリア(17ページ~23ページ)を伊藤委員(箕面市政策総括監)から説明を行い、全体コンセプト及び滝道エリア(1ページ~16ページ、参考資料)を、株式会社緑景から説明を行った。
委員間での意見交換の内容は、下記のとおり。

議事概要

1 駅前エリア

【駅前エリアの変更点】

駅前整備について、平成19年度の計画からの主な変更点を説明。

駅前広場内の舗装は、当初改修しない方向だったが、シェルターの基礎の関係及びガス燈風街路灯を配備していく関係で、現状のインターロッキング等を改修する必要が出てくることから、駅前広場の滝道方面から本通り方面(サンプラザ2号館の前の道も含む)までのインターロッキングを撤去し、シックな趣で石畳舗装を行う。

バス停のシェルター(屋根)について、他と一体整備を検討していたが、みのお本通り商店街に続く「ウェルカムゲート」を滝道から降りてくる観光客が見えるよう透視性をしっかり出すべく最優先に整備したいことから、改修は行わず、塗装(塗り替え)のみを行い、周辺の色合いと合わせていく。

みのおサンプラザ1・2号館のアーケードについて、トップライトは取り止め、帯の部分の色がまばらになってきている箇所を全て塗り替える(桜通り商店街アーケードも同様に塗り替え)。また、アーケードを支えている柱について、根元部分が錆びている箇所があるので、その部分を補強していく。さらに、一部雨漏りしているところは改修していく。

<主な意見及び答弁等>

【駅前ロータリーの石畳(19ページ)について】

・石畳の素材は、どのようなものをイメージしているのか。

滑りにくく、しずむ色合いのものをイメージしているが、具体的には未定である。

(イメージは、まちづくり実施計画(案)の19ページを参照)

【ウェルカムゲート(22ページ)について】

・平成19年度の計画では、駅前整備のイメージは「軽くて、明るい」となっている。しかし、ウェルカムゲートのイメージ写真を見ると、そうっておらず、これでインパクトがあると言えるのか疑問。また、機能的に雨除け対策等が不十分ではないか。

高さはイメージ写真にあるように一定もたせたい。雨除けについては、でっぱりが少ないので、もう少し屋根を伸ばして対応したい。また、1つの提案として、1ページの右下に「麗雅宋(れいがそう)書体」の一例があるが、これは明治口マンを醸し出していると思うので、例えばウェルカムゲートの下に、麗雅宋書体で右から横に「ショッピング街がある」旨が書かれたものを載せることも考えられる。柱等の色合いについては、当初サンプラザができた当初が「ブラウン系」であり、非常に落ち着いた色合いであることから、ブラウン系もしくはグレー系の色合いで明治の雰囲気を出していきたい。

- ・サンプラザの壁色は茶色で、そこにまた茶色をもってくると色が合いすぎて、暗くならないか。統一されたほうがいいと思うが、一方でおもしろみがなくなる。文化・交流センターの案内に使われているグリーン系や21ページにある街路灯の色のようなものでもいいのではないか。

明治風を表すために、レンガ色のような(もう少し薄い)ブラウン系を活用することで濃淡を出し、統一感を出したい。

- ・ウェルカムゲートのみシンボルとしてグリーン系の色を使うとアクセントになる。
- ・現在のゲートには、上部に1号館と2号館を繋ぐ避難経路が設置されているが、イメージ図ではなくなっている。設置しなくても、消防法の問題はないか。
みのおサンプラザ1号館と2号館の縁が切れていることから、消防法上は問題ない。
(続いていなければ、避難経路は不要)
- ・「明治風=シック」という認識をもっているかたが多いと思うが、派手な部分も明治風としてあっていいと思う。(周辺との調和を考えて)
- ・ゲートを少しバックさせて、人だまりの場を作ったほうがいい。“商店街がここから始まる”感じが必要である。
ゲート下の地中に「水路」があるため、構造的に可能かどうか検討する。

<学識経験者の意見>

- ・インパクトを考えるならば、ウェルカムゲート付近にアクセントカラーを持つてくることはありうる。但し、アーケード部分にも同じ色合いをもってくるのは気をつける必要がある。
- ・「どういう商店街をめざすのか」ということを根底に、色合いやデザイン等を決めていくことが重要である。ゲートについては、その地区のイメージが一番出るところなので、商店街の“色”をゲートに出さなければならない。
- ・明治風で派手なデザインの象徴であるアールヌーヴォー風な曲線のデザインをもつてくることも考えられる。(ex. 2ページの神戸ルミナリエのゲート)

<委員長>

シンボルカラーは、茶系と緑系を候補とし、次回提示する。

【駅前の地域情報PR版（箕面駅北口、23ページ）について】

- ・駅を降りてすぐのところに、このようなつい立てがあると導線的に混乱を招かないか。滝道から帰ってくる観光客を商店街のほうへ誘導させることを目的としている。紅葉の季節になると約40万人の観光客が滝道を訪れられることから、駅前周辺もご覧いただきたい思いがある。また、将来的に駅前に足湯の設置も検討しており、それも含めマッチングするか検討する。

<学識経験者の意見>

- ・1つの案とは思いますが、デザインや空間的な切り口から言えば、つい立てはない方がすっきりとする。商店街自らが魅力をつくって回遊をつくることが本来大事である。

<委員長>

委員からのご意見等を踏まえ、再度調整すること。

【わいわい空間（駅前ロータリー南西角、21ページ）について】

- ・舞台の後ろに白い壁を立ててしまうと、駅窓が塞がってしまい、プラットホームからまちなかの風景が見えなくなる。
- ・木のデッキ（舞台）しかないが、座るところはないのか。ステージの前にもベンチがあったほうが良い。
イベントは常時行われるものではなく、イベントが行われない時はステージが休憩スペースになるよう設計している。

【その他】

- ・ロータリーのガードレールは、美観を損なうと思うがどうか。ポールだけは考えられないか。
横断防止策として安全確保のために必要である。ポールだけでは役割は果たさない。
- ・木が観光案内所の前に3本と駅前に2本立っているが、30年～40年かけて育った木なので残してほしい。それらの木があるからこそ、景観的にも美しく見える。
- ・みのおサンプラザ2号館の建物が木で隠れてしまっており、見えなくなっている。
商売上、見通しの確保を優先させたい。
見通しを確保しながら、長年かけて育った木も残すことを検討する。
- ・観光シーズンには、駅構内のトイレとバス停前のトイレだけでは不十分である。例えば「みのおサンプラザにもトイレはあります。」といった旨の案内を設ければ、商店街への回遊性を生むことにもつながる。
- ・カリヨンの塔はどうするのか。移設する話は残っているのか。
コスト面から移設は考えていないが、大変貴重なものなので残したい。

2 滝道エリア

【フットライト、ガス燈風街路灯（5ページ～14ページ、16ページ）について】

- ・橋の欄干に、追加参考資料のイメージ図のような照明をつけても、歩いていてムードやロマンを感じないと思う。箕面には合わないのではないか。

平成19年の計画にはなかったが、夜間にも観光客を呼び込むための仕掛けとして、滝道にフットライトを整備したいと考えている。ピッチ（間隔）についてはコスト面を考慮する必要があるが、理想としては、一の橋から瀧安寺までを整備したいと考えている。

< 委員長 >

委員からのご意見等を踏まえ、再度調整すること。

- ・観光協会が行っている夏のライトアップと足並みを揃える必要があるのではないかと。別々ではなく、実施する場所と方法を統一する。
- ・色合いを駅前エリアと統一させるように、街路灯の色は黒っぽいこげ茶の色がいい。案にある色は鉄自体の色であり、明治風を醸し出すために地の色をもってきている。通常上から塗料するものではない。なお、網は張らない。

【滝道美化化（11ページ）について】

- ・完成した時は綺麗だが、人が歩き出すと段々汚れてくる。アスファルトのままでもいいのではないかと。
- ・今のインターロッキングの道は、雨が降った際、滑りやすく危険である。危険箇所については、今後補修を検討する。全面補修はできない。

【一の橋たもと部の自転車・バイク置き場（10ページ）について】

- ・手前（道路側）いっぱいまで白い線が引いてあるが、どのような役割があるのか。自転車が溢れることにならないか。

箕面公園内は、原則一般車両は進入禁止となっており、案にある白い線は、車両が進入してきた際に、Uターン（転回）して引き返せるように引いている線である。自転車等は、奥のスペースに駐輪していただく。

- ・自転車、バイクを駐輪禁止にできないか。駅前駐輪場に停めて、歩いてほしい。
- ・一の橋は自然にいざなう入り口であり、景色が変わる所なので、ベンチを設置するなどして憩いの場所に変えられないか。また、案内図の周りに自転車が停めてあったりするので、案内図を滝道を歩かれる人が見やすい所に移動できないか。

滝道への自転車等の乗り入れ規制は難しく、また車両を転回させる場所を確保することも必須である。狭い滝道の中で駐輪場を確保できる場所は、今ある一の橋のたもと部しかないと考えている。

また、朝早い時間帯に来られる場合は、駅前駐輪場は開いてないので、このたもと

部分以外に停めるところがない。

【歴史解説サイン（7ページ、13ページ、15ページ）について】

- ・7ページ右下にある西江寺のサインは、周辺の景色と合わないのではないか。5ページ左下（マンション前）にあるようなシンプルなサインのほうが良い。
- ・15ページ（瀧安寺広場）にあるサインは中に入りすぎていないか。滝道沿いに設置したほうがいい。
- ・瀧安寺のサインについて、箕面富（みのおのとみ：富くじ発祥）の記載がなされているが、瀧安寺の案内を記載するのであれば、観音堂の入口等に設置したほうがいい。観光客の目に止まるよう、滝道から歩いて見える範囲の所に設置したい。
- ・サインの色（チョコレート色）は、変えたほうがいいのではないか。明治風を演出し、緑に映える色として「チョコレート色」をもってきている。

< 学識経験者のご意見 >

- ・「目立たせるのか」または「風景に馴染ませるのか」を考えた時に、風景に馴染ませる色合いをもってきたほうがいい。

< 委員長 >

サインの形は提案のまま、色を変えて再度提案する。

【その他】

- ・「ごみの持ち帰り運動」を行っているにもかかわらず、一の橋たもと部にゴミ箱を設置しているのはなぜか。撤去するべきだと思う。
「ごみの持ち帰り運動」や「クリーンキャンペーン」は、点在しているゴミ箱を一箇所に集約させることを目的として取り組んでいるものであり、全てのごみ箱を一度になくすことは困難である。また、撤去したとしても、ごみを捨てる人が阪急箕面駅前のごみ箱に流れるおそれがある。

終わりに

- ・次回の懇話会は、各委員からの意見を踏まえ、改めて緑景から計画案を提示する。
ウェルカムゲート、サイン、フットライト（各整備のデザイン、色合い等）

次回懇話会の開催日時及び場所について

12月18日（金）午後6時より、市役所本館3階委員会室にて開催。

以上